

# 商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2019年8月調査結果-

## 調査概要

- 調査期間 2019年8月9日～8月30日
- 調査対象 200社
- 回答企業 124社
- 回収率 62.0%

### ※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

## 旭川市概況

※全産業の8月の状況を見ると業況DIは、前月より0.1ポイント悪化の▲16.1となった。

2017年9月以来24ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲16.9、当月に比べ0.8ポイントの悪化が見込まれる。

## 旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2019年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 2019年9月～ 11月
業況	▲21.6	▲18.9	▲13.0	▲16.3	▲16.0	▲16.1	▲16.9
売上	▲17.1	▲6.1	▲10.4	▲11.4	▲8.0	▲3.2	▲4.8
採算	▲24.3	▲15.5	▲13.1	▲15.5	▲16.0	▲12.1	▲13.7
仕入単価	▲43.2	▲47.4	▲40.9	▲44.7	▲41.6	▲29.9	▲32.3
販売単価	-	6.0	16.5	1.6	5.6	2.5	2.4
従業員	33.3	35.4	33.0	39.1	37.6	35.5	37.1
資金繰り	▲7.2	▲9.5	▲4.3	▲8.1	▲6.4	▲7.3	▲8.1

## 旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2019年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 2019年9月～ 11月
建設	▲18.5	▲17.8	▲11.1	▲13.8	▲3.5	▲6.7	▲6.6
製造	▲24.2	▲25.8	▲10.0	▲9.4	▲19.3	▲19.3	▲16.1
卸売	▲22.8	▲8.7	0.0	▲15.4	▲16.7	▲12.0	▲12.0
小売	▲26.6	▲20.0	▲31.3	▲25.0	▲22.2	▲15.8	▲21.0
サービス	▲16.6	▲21.1	▲20.0	▲25.0	▲20.8	▲31.6	▲36.8

## 今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革は今後も連休を増やすことで休暇を増やす方向に向かうのか注視している。残業時間削減で残業代が減っても肝心の仕事量は減らないという状況の企業もあると聞き、実情を把握したうえで改革を推進してほしい。（総合工事）</li> <li>・人手不足に伴い、工事量は確保できているが、熟せていない状態。4週8休の試験運用中に影響も出始めている。（設備その他）</li> <li>・昨年並みの受注仕事があり順調。（建築）</li> </ul>
製造業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来期の採用見込みが立っていない。印刷業界としての市場の減少、紙離れが進んでいる。（印刷・出版）</li> <li>・人手不足と働き方改革の影響による労働力不足が顕著。現有人員を維持できるよう福利を充実させていく。（金属窯業他）</li> <li>・今後追加運賃が必要になった札幌～旭川間の仕入れコストの上昇負担が重くなる。ネクスコの基板製造終わり基板の需要が減少する。（金属窯業他）</li> </ul>
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年同月よりも売上は伸びているが利益が売上と同じように比例して伸びていない。（機械鋼材）</li> <li>・仕入価格の上昇。（その他）</li> </ul>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月は夏物から秋物商品に衣替えの季節だが天候が異常気象の中、夏物衣料でも十分過ごせるため、来店客が少なく夏物商品をセールプライスで引っ張り売上をあげるしかなく厳しい状況。（衣料品）</li> <li>・有休取得や休日出勤の代休取得の関係で日々の人員シフト作成に苦慮している。帰省や観光客増加で燃料油出荷が増える時期だが安値店の価格が下落しすぎて採算性は好転しない。（その他）</li> <li>・営業スタッフ及びエンジニアの採用が厳しい。（自動車）</li> </ul>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客増加に伴い、全道のホテルが満室状態。特に札幌、ニセコ、岩見沢方面が忙しく、秋にかけて客の増加が見込まれる。3ヶ月休みなく働くが間に合わない。1日16時間労働でも大変で働く人も過重労働でない。（理美容・クリーニング）</li> <li>・働き方改革に伴い、週休二日制を導入したが今後は生産性向上のための意識改革が経営者・従業員含め必要である。（その他）</li> <li>・外国人観光客が多く対応に苦労している（飲食）</li> <li>・台風によるイベント中止による期待客の減少。（運送）</li> </ul>

## 旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI6.9ポイント悪化、採算DI10.0ポイント悪化、仕入単価DI16.9ポイント改善、販売単価DI0.4ポイント悪化、資金 DI10.3ポイント悪化、従業員 DI3.3ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 3.2ポイント悪化となった。業種別では、建築業 33ポイント改善、総合工事横ばい、設備・その他 18ポイント悪化となった。下請け業者不足による施工単価の上昇、資材価格（生コンクリート・砂利等逆ザヤ）の高騰が主な理由による採算の悪化との声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI横ばい、採算DI3.2ポイント改善、仕入単価DI6.4ポイント改善、販売単価DI0.3ポイント改善、資金DI3.2ポイント改善、従業員DI3.2ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況DIは横ばいとなった。業種別では、食料品13ポイント、家具・木材29ポイント悪化、印刷・出版横ばい、金属窯業他27ポイント改善となった。人手不足と働き方改革の影響による労働力不足が顕著。現有人員を維持できるよう福利を充実させていくとの声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上DI12.5ポイント改善、採算DI16.2ポイント改善、仕入単価DI1.2ポイント改善、販売単価DI0.2ポイント悪化、資金DI12.5ポイント改善、従業員DI1.1ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況DIは4.7ポイント改善となったが「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、機械鋼材、その他横ばい、繊維・衣服等25ポイント、食料品3ポイント改善となった。前年同月よりも売上は伸びているが利益が売上と同じように比例して伸びていないとの声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上DI22.6ポイント改善、採算DI17.2ポイント改善、仕入単価DI21.8ポイント改善、販売単価DI4.7ポイント悪化、資金DI10.0ポイント悪化、従業員DI12.8ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況DIは6.4ポイント改善となった。業種別では、その他30ポイント悪化、衣料品横ばい、食料品20ポイント、自動車31ポイント改善となった。人手不足の影響で需要に見合う供給（商談他）ができないとの声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上DI4.1ポイント改善、採算DI6.6ポイント悪化、仕入単価DI13.2ポイント改善、販売単価DI12.5ポイント悪化、資金DI2.1ポイント悪化、従業員DI6.8ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況DIは10.8ポイント悪化となった。業種別では、整備業27ポイント改善、その他、運送横ばい、理美容・クリーニング50ポイント、ホテル・旅館43ポイント、飲食8ポイント悪化となった。外国人観光客が多く対応に苦労しているとの声も寄せられている。</p>